

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 嶋村伸子

日時	2024年06月12日(水) 10時00分～15時30分	天候	晴れ	コース名： 第48回よりみちクラブ
案内団体 又は催事名	「富雄丸山古墳」と「靈山寺を巡る」		人数	大人:28名

集 合：近鉄学園前駅

ガイド：ならなぎ会員 山下裕章さん

行 程：近哲学園前駅南口10時集合→バス移動10時25分発→若草台中央下車10時38分着→富雄丸山古墳説明→昼食(イオンタウン内)11時45分～12時45分→砂茶屋1時5分着説明→靈山寺着13時30分着説明→靈山寺解散15時→バス移動15時10分発→近鉄富雄駅15時20分着 (徒歩約5キロ)

出席者：吉川・奥山・嶋田・山下(裕)・上森・北川・久賀田・山岡・服部・山田(勝)・森・玉尾(洋)・玉尾(ひ)・渕・義田・米村・山下(み)・樋口・田中(和)・木邨・宇野・樋野・中谷・竹山・村上・山田(一)・堀内(け)・嶋村 (28名)

*今話題の蛇行剣と盾形銅鏡が発掘された富雄丸山古墳と バラ園で有名な靈山寺をならなぎ会員の山下裕章さんに案内説明をしていただいた。

*富雄丸山古墳

直径約109mで国内最大の円墳である可能性がある。

第6次調査で、盾形の銅鏡と、蛇行剣と呼ばれる鉄剣が出土した。

*靈山寺(大和国 登美山 鼻高)

富雄の里は古事記には登美の地とある。この地は小野妹子の息子と伝わる小野富人が蟄居した地である。

富人は熊野本宮に参籠し薬師如来を感得して、薬草湯屋を建て、諸人の病を治したのが、遠因といわれる。

彼はその後、鼻高仙人と称され人々に尊宗されたという。

創建は、聖武天皇が建立をされ、インド婆羅門僧菩提僊那が登美山の地相が釈迦の聖地靈鷲山に似ていることから登美山鼻高靈仙寺(とみやまびこう)として(736年)落慶した。

所感等

梅雨まじかな、蒸し暑い日であったが、28名という沢山の参加者を迎えて、盛況に実施でき、良かった！

富雄丸山古墳は公開時期ではない為、入ることはできなかったが、山下さんの詳細な資料のおかげで、皆さんよくご理解頂けたと思う。

靈山寺のバラ園は、次期が過ぎており、美しいバラをみることはできなかった。

本堂(国宝)の仏像や靈山寺の行基像が 近哲奈良駅のおなじみの行基像と同時期に作られ同じく赤膚焼きであるが、数珠の持ち方が違うと、さすが、皆さん よくご存じでした！

(特記事項)

・拝観料 瞬仙寺拝観料 500円

・富雄丸山古墳については、山下さんが、詳細な資料を作つて下さっているので、そちらをご覧ください！

